

情勢分析レポート No.28

ラオス人民革命党第10回大会と 「ビジョン2030」

山田 紀彦 編

アジア経済研究所
IDE-JETRO

目次

まえがき

第1章 第9回党大会以降の政治, 経済状況	山田紀彦	1
はじめに		1
第1節 政治状況		2
第2節 経済状況		8
おわりに		15
第2章 人民革命党の現状認識と今後の国家建設方針		
——政治報告分析——	山田紀彦	19
はじめに		19
第1節 第9回党大会以降の状況に対する党の認識		20
第2節 今後の国家建設方針		30
おわりに		39
第3章 党と国家の新指導部——世代交代への過渡期——	山田紀彦	43
はじめに		43
第1節 第10回党大会前の県知事, 中央国家機関人事		44
第2節 党大会代表の属性		49
第3節 党指導部人事		52
第4節 政府人事とトーンルン首相の政権運営		63
おわりに		69

第4章 「ビジョン2030」——達成できるか所得4倍増計画——	
.....ケオラ・スックニラン.....	73
はじめに	73
第1節 第7次5カ年計画（2011～2015年）の成果	74
第2節 ビジョン2030，10カ年開発戦略，第8次5カ年計画	83
第3節 ビジョン2030の達成可能性	89
むすび	93
第5章 社会開発戦略と今後の課題——「負の側面」の克服と	
「カイソーン・ポムヴィハーン思想」——.....矢野順子.....	97
はじめに	97
第1節 第10回党大会と社会政策分野	99
第2節 教育政策	104
第3節 「公民教育」とカイソーン・ポムヴィハーン	108
おわりに	115
第6章 第8期国会議員選挙と県人民議会選挙.....山田紀彦.....	123
はじめに	123
第1節 県議会復活の背景と役割	124
第2節 選挙過程	128
第3節 候補者の属性分析と結果	136
おわりに	149

〔執筆紹介〕（執筆順）

やま だ のりひこ
山田紀彦

（第1章、第2章、第3章、第6章）

所 属 日本貿易振興機構アジア経済研究所 在ビエンチャン海外調査員

主要著作 編著『独裁体制における議会と正当性——中国、ラオス、ベトナム、カンボジア——』（アジア経済研究所 2015年）、「ラオス人民革命党の体制維持戦略——国会と選挙を通じた国民の包摂過程——」『アジア経済』（2013年第54巻第4号）、編著『ラオス人民革命党第9回大会と今後の発展戦略』（アジア経済研究所 2012年）、編著『ラオスにおける国民国家建設——理想と現実——』（アジア経済研究所 2011年）など。

ケオラ・スックニラン （第4章）

所 属 日本貿易振興機構アジア経済研究所 バンコク研究センター

主要著作 「第7次経済・社会開発5カ年計画（2011～2015）——資源・エネルギー部門に大きく依存した経済開発——」山田紀彦編『ラオス人民革命党第9回大会と今後の発展戦略』（アジア経済研究所 2012年）、「国家財政と国有企業——国有化、民営化、そして商業化——」山田紀彦編『ラオスにおける国民国家建設——理想と現実——』（アジア経済研究所 2011年）、「国有企業改革からみた市場経済化——軍営企業・山岳部開発会社（BPKP）の場合——」天川直子・山田紀彦編『ラオス——一党支配体制化の市場経済化——』（アジア経済研究所 2005年）など。

や の じゅん こ
矢野 順子

（第5章）

所 属 愛知県立大学外国語学部准教授

主要著作 『国民語の形成と国家建設——内戦期ラオスの言語ナショナリズム——』（風響社、2013年）、「教育と人材開発——質的改善の2つの側面——」山田紀彦編『ラオス人民革命党第9回大会と今後の発展戦略』（アジア経済研究所 2012年）、「国家建設過程における理想的国民像の変化——道徳教科書の分析を中心に——」山田紀彦編『ラオスにおける国民国家建設——理想と現実——』（アジア経済研究所 2011年）、「国民語が「つくられる」とき——ラオスの言語ナショナリズムとタイ語——」（風響社 2008年）など。

複製許可および PDF 版の提供について

点訳データ、音読データ、拡大写本データなど、視覚障害者のための利用に限り、非営利目的を条件として、本書の内容を複製することを認めます。その際は、出版企画編集課転載許可担当に書面でお申し込みください。

〒 261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3-2-2
日本貿易振興機構 アジア経済研究所
研究支援部出版企画編集課 転載許可担当宛
<http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/reproduction.html>

また、視覚障害、肢体不自由などを理由として必要とされる方に、本書の PDF ファイルを電子メール添付ファイルにて提供します。下記の PDF 版申込書（コピー不可）を切りとり、必要事項を記入した上で、出版企画編集課 販売担当宛にご郵送ください。

ご連絡頂いた個人情報は、アジア経済研究所出版企画編集課（個人情報保護管理者－出版企画編集課長 043-299-9534）において厳重に管理し、本用途以外には使用いたしません。また、ご本人の承諾なく第三者に開示することはありません。

アジア経済研究所研究支援部 出版企画編集課長

PDF 版の提供を申し込みます。調査研究以外の用途には利用しません。

山田紀彦 編

『ラオス人民革命党第 10 回大会と「ビジョン 2030」』

情勢分析レポート No. 28 2017 年

住所 〒

氏名：

年齢：

職業：

電話番号：

電子メールアドレス：

【表紙写真】

2016年1月18日、ラオス人民革命党第10回大会で演説するチュムマリー・サイニャソーン党書記長（EPA = 時事）。

[情勢分析レポート No.28]

ラオス人民革命党第10回大会と「ビジョン2030」

2017年1月30日発行

定価 [本体 1,400円 + 税]

編者 山田 紀彦

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 ㊦ 261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷所 康印刷株式会社

表紙デザイン 康印刷株式会社

出版案内

「情勢分析レポート」

(表示価格は本体価格です)

28	ラオス人民革命党第10回大会と「ビジョン2030」 山田紀彦 編 2017年 152p. 1,400円	ラオスは順調に経済発展を遂げている一方で、汚職や格差などの経済発展の負の側面が拡大し、国民の党への信頼が低下している。2016年1月の第10回党大会で提示された党の現状認識と今後の長期戦略である「ビジョン2030」を分析し、今後のラオスを展望する。
27	ミャンマー新政権の発足 アウンサンスーチー新政権はいかに誕生したのか 長田紀之・中西嘉宏・工藤年博 著 2016年 143p. 1,300円	約半世紀ぶりの自由で公正な選挙が行われたミャンマー。2015年11月の総選挙の分析から、アウンサンスーチー新政権誕生の軌跡を明らかにし、「ポスト軍政」の第2ステージを展望する。
26	ASEAN 共同体 政治安全保障・経済・社会文化 鈴木早苗 編 2016年 187p. 1,800円	ASEAN諸国がその構築を進めているASEAN共同体は政治安全保障共同体・経済共同体・社会文化共同体の三つの柱から構成される。ASEAN共同体構築の名の下に、ASEAN諸国はどのような協力を行っているのかについて解説し、課題を指摘する。
25	内戦終結後のスリランカ政治 ラージャパクサからシリセーナへ 荒井悦代著 2016年 131p. 1,300円	26年間続いたスリランカ内戦を終結させ、経済発展をもたらしたマヒンダ・ラージャパクサは、なぜ失脚しなければならなかったのか。めまぐるしく変化した内戦後のスリランカ政治をコンパクトに解説する。
24	習近平時代の中国経済 大西康雄著 2015年 147p. 1,400円	発足後2年半を経て習近平政権の基盤は安定し、改革・開放を再始動する環境が整ってきた。前政権から継承した短期、中期、長期の諸課題への取り組みを中心に、2022年までの同政権期における中国経済の行方を展望する。
23	インドの第16次連邦下院選挙 ナレンドラ・モディ・インド人民党政権の成立 近藤則夫編 2015年 207p. 2,000円	インドでは2014年の総選挙で国民会議派の与党連合が大敗し、ナレンドラ・モディが率いるインド人民党連合が政権に就いた。与党大敗の原因を探り、新政権の行方を展望する。
22	タイ2011年大洪水 その記録と教訓 玉田芳史・星川圭介・船津鶴代編 2013年 207p. 1,900円	タイの2011年洪水は日本にも大きな打撃を与えた。本書はこの自然災害を学際的な観点から概説する。洪水発生の原因や状況、タイの経済や社会への影響などを記録し、タイ政府が進める洪水対策について説明する。
21	2012年ベネズエラの大統領選挙と地方選挙 今後の展望 坂口安紀編 2013年 132p. 1,200円	2012年の選挙結果からは、その直後のチャベス大統領死去や後継政権誕生後の展望を占ううえでの重要な情報が読み取れる。2つの選挙後の目まぐるしい情勢変化についても概説する。
20	習近平政権の中国 「調和」の次に来るもの 大西康雄編 2013年 163p. 1,500円	2012年秋の共産党大会、2013年春の全国人民代表大会を経て習近平政権が本格始動した。習政権は、直面する内外の課題を克服して中国を世界第2の大国に押し上げ得るのか。多面的に分析を試みる。
19	中東地域秩序の行方 「アラブの春」と中東諸国の対外政策 土屋一樹編 2013年 197p. 1,800円	「アラブの春」は中東の地域バランスにどのような変化をもたらすのだろうか。中東9カ国の対外政策と国内統治の動向を検討することで、「アラブの春」以降の中東地域秩序の変動を考える。
18	馬英九再選 2012年台湾総統選挙の結果とその影響 小笠原欣幸・佐藤幸人編 2012年 131p. 1,200円	台湾では2012年1月に総統選挙が行われ、国民党の馬英九が再選を果たした。馬の再選はなぜ可能だったのか。台湾と中国の関係を軸に、政党の構造や戦略にも分析を加えながら読み解く。
17	転換期のベトナム 第11回党大会、工業国への新たな選択 寺本実編 2012年 187p. 1,700円	ベトナム共産党の第11回党大会が2011年1月に開かれ、政治・経済・外交にわたる今後の基本方針が定められた。同党大会とその前後の状況、文脈を、多角的な観点から読み解く。